



これからの指導者の あり方を考える

2020年2月16日(日)

中埜総合印刷株式会社

代表取締役副社長

Standard 愛知 編集長

森川 絨

目次

1. 自己紹介
2. **Standard愛知の取り組みについて**
3. **暴力・体罰含めた指導者のあり方を考える**
4. **炎天下における暑さ対策の問題を考える**
5. **選手のケガ、故障の防止対策を考える**
6. **人財育成とマネジメントを考える**
7. おまけの話

自己紹介(スポーツ経歴)

名前:森川 誠

生年月日:昭和30年8月22日(64歳)

出身校

- ・東浦中学野球部
- ・大府高校野球部
- ・慶應義塾大学野球部

スポーツ指導歴

- ・少年野球クラブチームのコーチ・監督4年
- ・中学硬式野球クラブチームのヘッドコーチ9年
- ・高校野球部(大府高校)のヘッドコーチ10年目

スポーツ業務経歴

- ・「Standard愛知」の編集長6年目
- ・CACケーブルテレビ夏の高校野球愛知大会解説5年



「Standard愛知」の
取り組みについて

<コンセプト>

アマチュアアスリートを応援する 愛知のスポーツ専門誌

<取材・編集方針>

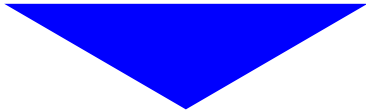
- 一般のメディアでは取り上げられにくい競技や、決して強豪・有名ではなくても、愛知の様々な地域で頑張っているチームやアスリートを積極的に取り上げ、掲載して行きます。
- 「愛知をひとつにするのはスポーツだ！！」をスローガンに愛知のアマチュアスポーツにこだわり続けて行きます。

Standard愛知の意義

<アマチュアスポーツの魅力やそれを取り上げる意義>

- 頑張っているのは、決してプロ選手や有名選手、名門チームの選手たちだけではありません。
- 男女を問わず、子供からお年寄りまで、スポーツに打ち込むひたむきな姿や情熱に人は心を動かされます。
- 地元チームやアスリートの活躍は、町に笑顔と活気を呼び起こし、地域や家族の絆を深めます。
- 地元のため、学校のため、家族のため、会社のために努力し、頑張る姿は、周りの人々に感動を与えます。

Standard愛知の意義

- 楽しさや、ひたむきな姿を誌面を通して幅広く紹介していくことで、人の「輪」が広がり、人と人との「和」が築かれます。
 - 取材を受けたり、雑誌に掲載されることにより、選手やチームのモチベーションが高まり、同時に責任感も芽生え、人間的成長にも繋がって行きます。
- 
- そんな使命感や期待感を持ちながら、愛知を元気にするお手伝いができる意義は大きいと考えます。

<基本情報>

■年間発行回数

- ・6回(偶数月の最終週火曜日発行)

■販売ルート

- ・愛知県内書店、Web通販(全国)、直販

■販売価格

- ・1冊880円(税込み)

Standard愛知の取り組み

<現状の取り組み>

- (1)中京テレビ「スポーツスタジアム魂」番組内で告知、
視聴者プレゼント(毎週日曜日16:55~17:25)
- (2)中京テレビとのコラボ企画で東京オリンピックに向けた
県内有カアスリートを同時取材し、中京テレビの動画アプリ
「Chuun」と「Standard愛知」誌面で応援。
- (3)CBCラジオにて毎年6月の高校野球特集号時に
編集長が出演。※2月22日選抜特集で出演予定
- (4)ケーブルテレビ局と連携し、スポーツ番組を制作
- (5)Standard愛知杯「愛知社会人軟式野球10強リーグ戦」後援
- (6)少年野球大会「立浪和義杯」の後援
- (7)スポーツ交流会の開催

Standard全国ネットワーク

地域をひとつにするのはスポーツだ!

Standard

青森・秋田・岩手・宮城・福島・群馬・新潟・愛知

好評発売中!

【全国・日本各地】 全国紙発行部数第1位 Standard 愛知編集部
愛知編集局 豊田支店 〒471-8501 豊田 1-2-1 Tel.0565(2)1-2426(内)

スタンダード青森・秋田
URL: <http://www.standard-aomori.com>
TEL: 0172-22-1111 FAX: 0172-22-1112
E-MAIL: standard@standard-aomori.com

スタンダード岩手
<http://www.standard-iwate.jp/>
TEL: 0192-22-1111 FAX: 0192-22-1112
E-MAIL: standard@standard-iwate.jp

スタンダード宮城
<http://www.standard-miyagi.jp/>
TEL: 022-22-1111 FAX: 022-22-1112
E-MAIL: standard@standard-miyagi.jp

スタンダード福島
TEL: 0242-22-1111 FAX: 0242-22-1112
E-MAIL: standard@standard-fukushima.jp

スタンダード群馬
TEL: 0272-22-1111 FAX: 0272-22-1112
E-MAIL: standard@standard-gunma.jp

スタンダード新潟
2018年10月創刊!!

スタンダード愛知
<http://standardaichi.jp/>
TEL: 0565-22-1111 FAX: 0565-22-1112
E-MAIL: standard@standardaichi.jp

1.岩手

2.愛知

3.宮城

4.青森・秋田

5.群馬

6.福島

7.新潟

Vol. 3 1

2019年7月・8月号



主な掲載ジャンル・コンテンツ

令和元年、甲子園への道

令和初、夏の陣

101回目の甲子園

【愛知県編】

006 編集部が選ぶ注目9校

- 006 東邦高校
- 008 中部大学第一高校
- 010 愛知黎明高校
- 012 中京大甲南高校
- 014 幸栄高校
- 016 崇学館高校
- 018 中部大学春日丘高校
- 020 桜丘高校
- 022 碧南高校

024 PICK UP PLAYER

- 愛知を制するのは彼らだ
- 024 石川昌樹(幸栄高校)
 - 026 須賀龍貴(幸栄高校)
 - 027 三島有貴&衣良(幸栄高校)
 - 028 上田新太郎(幸栄高校)
 - 029 高橋宗斗(幸栄高校)

030 夏の大会注目の

52校

チーム名鑑

110 Aim For 2020 ~東海3県を統一~

ソフトボール 川畑 隆
サッカー 永井 友理

114 [スタンダード愛知×ハイスゴス編]

ハイテンション
114 藤井高校 / 116 東海高校

【岐阜県編】

058 編集部が選ぶ注目4校

- 058 大垣日本大学高校
- 060 県立岐阜商業高校
- 062 中京学院大中京高校
- 064 岐阜第一高校

072 PICK UP PLAYER

- 岐阜を制するのは彼らだ
- 066 内藤空史 & 小野谷優斗(大垣日本高校)
 - 068 田中龍(県立岐阜商業高校)
 - 069 藤田穂斗(中京学院大中京高校)

070 夏の大会注目の

24校

チーム名鑑

【三重県編】

082 編集部が選ぶ注目4校

- 082 津田学園高校
- 084 豊野高校
- 086 津南高校
- 088 いなべ総合学園高校

090 PICK UP PLAYER

- 三重を制するのは彼らだ
- 090 前田拓斗 & 前川直輝(津田学園高校)
 - 092 岡村勇樹(津南高校)

094 夏の大会注目の

25校

チーム名鑑

108 夏の選手権大会、 東海3県の代表校が選んだ選抜員5名と ドラマ生んだ7つの激闘

主な掲載ジャンル・コンテンツ

愛知をひとつにするのはスポーツだ!!
AICHI Sports Magazine

Standard **愛知**

http://standardaichi.jp 2020 January-February
【ドラフト指名2019】東海からプロの世界へ 石川昂弥 (東邦) 他
「北瀬の心を叩いてメダルを目指したい」山西利和 (陸歩)

中学生
野球
大特集

翔け
HEROたち2020

103

【ボーイズリーグ】愛知守山ボーイズ、愛知名港ボーイズ、愛知豊橋ボーイズ
【リトルシニア】如多東洋リトルシニア、豊田リトルシニア、三河安城リトルシニア
【ヤングリーグ】SASUKE名古屋ヤング
【軟式野球】旭中学校、幸田中学校
【硬式野球】旭中学校、幸田中学校

008 中学生野球大特集

翔け HEROたち2020



011 硬式野球【ボーイズリーグ】

- 012 愛知守山ボーイズ
- 014 愛知名港ボーイズ
- 016 愛知豊橋ボーイズ

018 ボーイズリーグチーム名鑑

注目の**44**チーム名鑑

035 硬式野球【リトルシニア】

- 036 如多東洋リトルシニア
- 038 豊田リトルシニア
- 040 三河安城リトルシニア

042 ボーイズリーグチーム名鑑

注目の**22**チーム名鑑

051 硬式野球【ヤングリーグ】

- 052 SASUKE名古屋ヤング

054 ボーイズリーグチーム名鑑

注目の**11**チーム名鑑

058 軟式野球

- 060 旭中学校
- 062 幸田中学校

064 ボーイズリーグチーム名鑑

注目の**26**チーム名鑑

002 【ドラフト指名2019】

東海からプロの世界へ
未来のスター候補たち

076 PRIDE JAPAN 少年野球全国選抜大会
決勝戦レポート

078 圧倒的な力をつけて金メダルを目指したい
山西 利和 (陸歩)

083 【スタンダード愛知×ハイスポ企画】
ハイテンション

083 愛知高校 / 086 飛騨高山高校

074 Standard Baseball
立浪和義
FIVEFOLD DREAM MATCH レポート

088 I LOVE SPORTS
豊橋ファイティングアイフリス名古屋U15名古屋豊橋対
あしたのスポーツクラブ (対決)

090 愛知SPORTS FLASH SPECIAL

094 Standard Golf
榎谷育代の「ここだけの話」

095 バックナンバー5定期購読

096 次号予告

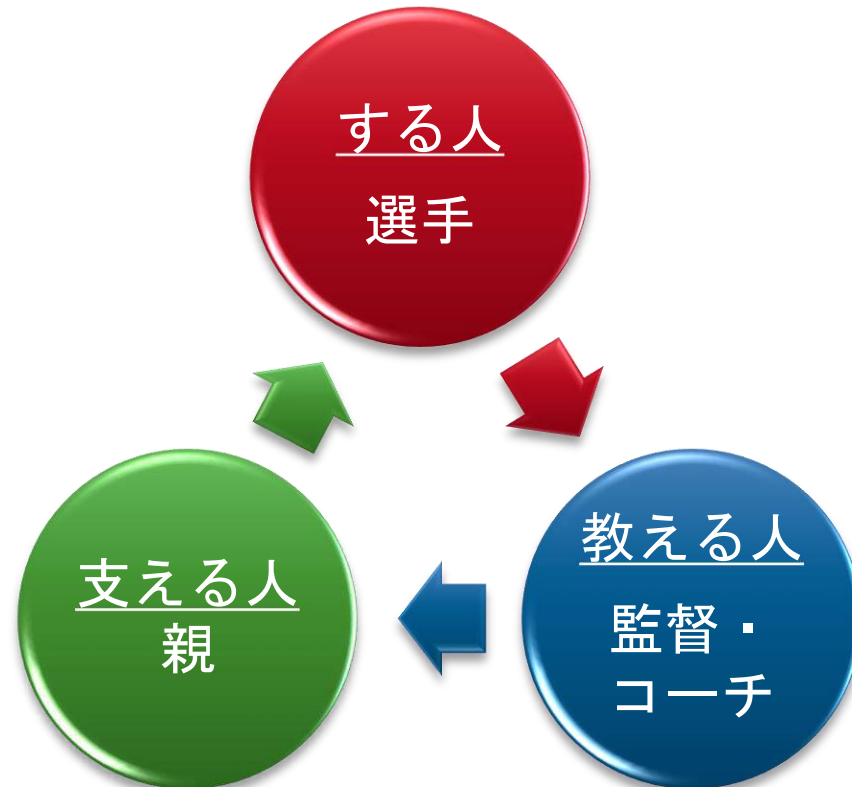
高校野球における
現状の問題点と
今後の方向性を考える

- 1.暴力・体罰含めた
指導者のあり方の問題
- 2.炎天下における
暑さ対策の問題
- 3.ケガ、故障の防止対策
の問題

1. 指導者のあり方の問題を考える

～暴力・体罰・いじめ等指導者・親子・部内関係の難しさ～

- ・目的、目標を達成させる為の手段のあり方
- ・価値観の違い、変化・ジェネレーションギャップ
- ・どこまでが厳しさで、どこから体罰か等。



1. 指導者のあり方の問題を考える

1

指導者

GAP

選手

価値観の相違

信頼観の欠如

コミュニケーション
不足

教育的指導

科学的トレーニング

コーチング

信頼

自主性

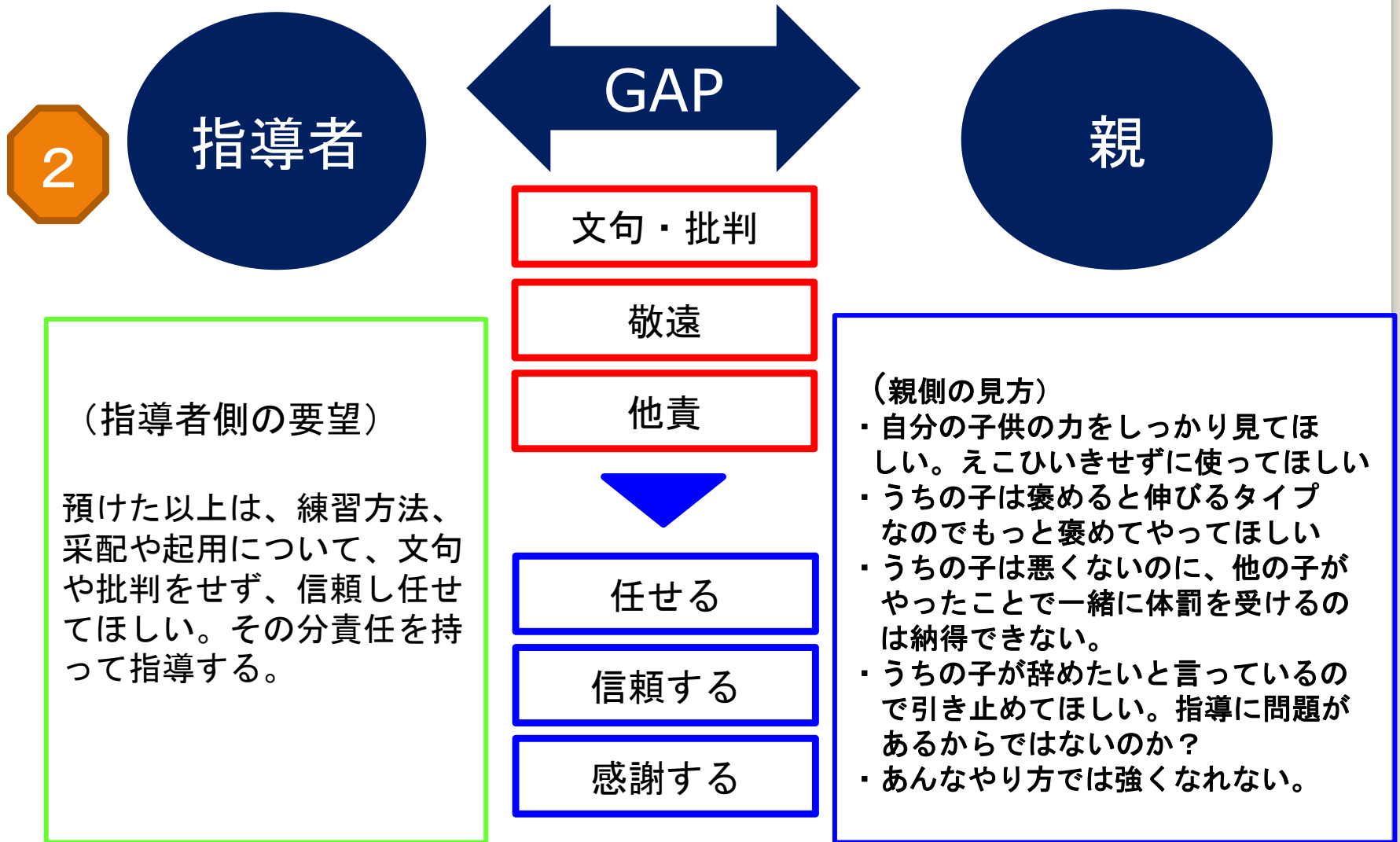
(従来からの価値観)

- 勝つためには強い心・高い技術と体力が備わっていなければ勝てない。その為には厳しい練習を課しそれを乗り越え、耐えることで身につく。人間的にも成長できる。
- 場合によっては、厳しく叱責したり、言ってもわからない者には、殴ってでも解らせ、やらせないと勝負には勝てない。
- 甘やかしたり自主性に任せていたら結果はついてこない。

(選手の受け止め方)

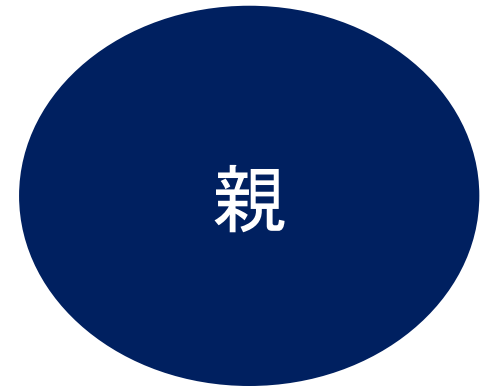
- 強くなるためには、厳しい練習が必要なことは理解できる。
- ただ、人格否定の言葉や暴力は、強くなるために必要とは思わない。
- でも、試合に出して貰うためには我慢するしかない。

1. 指導者のあり方の問題を考える



1. 指導者のあり方の問題を考える

3



干渉し過ぎ
子離れできず

当たり前感覚
のズレ



応援する

激励する

見守る

感謝の心

(子供側の言い分)

- ・ 親の過度な期待がプレッシャーでめんどくさい。
- ・ 親なんだからお金を出すのは当たり前だし、朝早く弁当つくるのもみんなやってることだから当たり前。
- ・ 感謝してるけど感謝しろと言われると反発したくなる。
- ・ 子供じゃないんだから、いちいち言わなくても解っているからほっといてほしい。
- ・ 監督や他の奴の悪口は聞きたくない。

(親側の見方)

- ・ 家では学校のことや部活のことを話してくれない。
いろいろ聞きたいのに (母親)
- ・ 監督の言うことより、俺の方が経験があるから俺の言うことを聞け (父親)
- ・ こんなにいろいろやっているのに何もわかっていない。 (母親)

1. 指導者のあり方の問題を考える

「勝つための、勝たせるための考え方、方法と指導者としてのあり方について考える」

暴力・体罰については、定義や範囲、境界線があるわけではありません。本当の暴力は別として、言葉の暴力だと言ってみたり、トレーニングの一環でやったことが体罰と受け止められ、指導者を問題視する今の風潮は、選手たちにとって、またチームや組織・団体にとっても決して好ましいものとは思えません。答えや正解があるテーマではありませんが、一考に価するものと考え紹介します。

①アマチュアの場合

- ・ 高野連では公然と正座をさせてはダメとなっている。事情を知らない第三者が事象のみでクレームを入れてくる時代。そのことだけを取り上げれば決して好ましいことではないかもしれないが何故、そのことをさせたのか、その背景や意味・理由は問われない。結果・事象のみが問われてしまう。
- ・ 今の風潮・事象で危惧することは、熱意を持って指導する指導者がいなくなってしまうという危機感。つまりバカバカしくて、やってられない、何でそこまで言われて家族や自分の時間を犠牲にしてやる必要があるのかとってしまう。

1. 指導者のあり方の問題を考える

②プロの場合

- ・手を挙げないとやらないような選手は、この世界で食べていけないので方法論としては必要ない。
- ・上手くなるために選手も一生懸命やって、こちらも何とかしてやりたいと思う中で、仮に手を挙げるがあっても、それは選手に伝わるはずだし、問題にはならない。

しかし、アマチュアの場合は、指導者側と選手側に温度差（意識の差）があり、そこに親が入ってくると問題は一層ややこしくなる。

- ・この温度差を埋めるためにどうするかが重要になってくる。
「例えば、入部希望者と父母を集めて、子供の成長や強くするために、厳しい言葉や万が一、手を挙げることがあるかもしれない。もし、理由抜きでそれがダメなら入部しないでくれと予め言っておく必要もあるのではないか。」
- ・一生懸命やる奴には手を差し伸べるし、何とかしてやりたいと思う。本人も理解していれば周りがとやかく言う必要はないと思う。

1. 指導者のあり方の問題を考える

- 高野連主催の甲子園塾で箕島の尾藤監督が亡くなる前に残された言葉、

「グラウンドは畑である。耕して、水をあげて。そのやり方を生徒のために自分で一生懸命考えないといけない。自分がどれだけ生徒の世話ができたかが大切。体罰に頼らない指導を。絶対に手を挙げるな。暴力で人は変わらない。

「待つ」「信ずる」「許す」が大事。

- 元中京高校の杉浦藤文監督の言葉。

「指導は子守の感覚が必要」

「監督の仕事とは、ビジョンを示し結果に対しては全責任を取ること。方法論に絶対はない。勝てない理由を環境や選手のせいに行っている間は強くなれない。

「愛のムチは手や足ではなく、言葉や心で伝えるものです。」

1. 指導者のあり方の問題を考える

● 個別対策

- ・ 高野連の罰則
- ・ 学校側の処分
- ・ 指導者資格の認可制と研修制度の導入
- ・ 違反者の指導資格の剥奪

● 抜本的対策

指導者だけの問題に留めず、
国の教育指導要綱に現代版の道徳・倫理教育を
復活させながら幼児教育を含め、小さい時から
暴力やイジメの撲滅に向けた取り組みを行う
必要がある。

これからの指導者のあり方～私の結論～

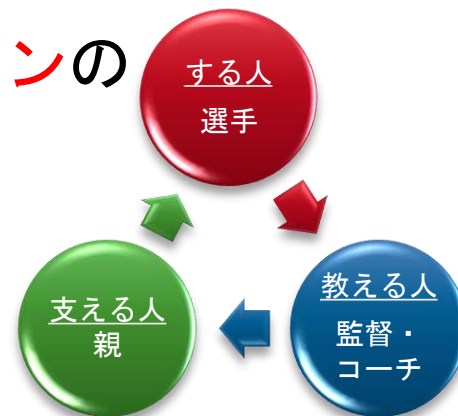
何故、昔は暴力が問題視されなくて、今はダメなのか？

【認識すべき大前提】

- 昔も今も暴力はダメだということ。
昔は認められていたわけではない。相互の信頼感の方が上回って受け入れていただけ。
- 強くする、勝つための指導方法から一旦、暴力を全削除すること。



指導者は、選手・親とのコミュニケーションのとり方を工夫すること。良質化すること。
全ては選手の為に貫くこと。
感情→愛情＝怒る→叱る
信頼される為の人的魅力を磨く。



2. 炎天下の暑さ対策の問題を考える

●背景

平均気温の上昇に伴い、炎天下での試合は選手のみならず、応援者や観戦者にも熱中症リスクが高まっている。

●個別対策

- ・ 各地区の予選日程と甲子園大会日程の再考
- ・ 試合開始時間の調整
- ・ 休憩時間の確保と水分補給
- ・ 日々の練習方法、練習時間、休息日の見直し

2. 炎天下の暑さ対策の問題を考える

個別対策の限界

● 抜本的対策

- ・ 夏の選手権大会の開催球場の変更
→京セラドーム
- ・ 甲子園球場のドーム化
- ・ 選手権大会の使用球場を全国のドーム球場に分散化し、開会式と決勝戦のみ現在の甲子園球場で行う。

- ① 札幌ドーム
- ② メットライフドーム
- ③ 東京ドーム

- ④ ナゴヤドーム
- ⑤ 京セラドーム
- ⑥ 福岡ヤフオクドーム

3. ケガ、故障の防止対策を考える

●実施済の対策

1. 延長引き分け再試合制の導入と見直し

歴史と内容

3. ケガ、故障の防止対策を考える

- 1958年以前は試合を途中で打ち切るルールは無し。
＝決着がつくまで行う。

●延長引き分け再試合制の導入

1958年（昭和33年）から
延長18回に規定

適用
1

1958年（昭和33年）夏の第40回全国高等学校野球選手権大会において、坂東英二は準々決勝の徳島商業対魚津高校（富山）戦で延長18回引き分け再試合を演じ、この規定の初適用者になった。再試合は徳島商が3×1で勝利。

適用
2

1964年（昭和39年）夏の第46回全国高等学校野球選手権大会1回戦。掛川西対八代東の試合が行われ、0×0のまま18回終了。引き分け再試合となった。再試合は、掛川西が6×2で勝利。

適用
3

1969年（昭和44年）夏の第51回全国高等学校野球選手権大会決勝戦。松山商対三沢の試合が行われ、0×0のまま18回終了。引き分け再試合となった。再試合は、松山商が4×2で勝利。

3. ケガ、故障の防止対策を考える

2000年（平成12年）から
延長15回制に変更

伏線

1998年（平成10年）夏の第80回全国高等学校野球選手権大会の準々決勝第一試合では、PL学園対横浜延長17回の試合が行われ、横浜高校の投手だった松坂大輔が、延長17回を一人で250球投げ続けた事が後に論議を呼んだ。

適用
1

2006年（平成18年）夏、第88回全国高校野球選手権大会決勝戦。駒大苫小牧対早稲田実業、1×1。田中将大と斎藤祐樹の投げ合い。再試合は、4×3で早稲田実が勝ち優勝。

適用
2

2007年（平成19年）夏、第89回全国高校野球選手権大会2回戦。佐賀北対宇治山田商、4×4。再試合は、9×1で佐賀北が勝利。

3. ケガ、故障の防止対策を考える

●実施済の対策

2. タイブ레이크制の導入（高校野球版）

導入	2018年（平成30年）の選抜大会から
目的・狙い	<ol style="list-style-type: none">1. 選手の（特に投手）健康面への配慮2. 大会運営の円滑化
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 12回終了時に同点の場合、13回から開始・ 走者を無死、一・二塁の状態から行い、打者は12回終了時の打順を引き継ぎ、走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者となる。

3. ケガ、故障の防止対策を考える

●今後の対策

1. 球数制限の導入（高校野球版）

導入	2020年（令和2年）の選抜大会から
目的・狙い	投手の障害予防
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 一人の投手の投球数が1週間で500球に達した場合は、それ以上投げることを認めない。・ 1週間及び500球に明確な根拠は無し。・ 同時に申告敬遠も採り入れる。 <ul style="list-style-type: none">・ 全ての公式戦に適用する。・ 3年間の試行期間

3. ケガ、故障の防止対策を考える

●球数制限をどう受け止めるか

1. 何故1試合でなく、1週間なのか？
中1日で150球を3試合投げることができる。
200球ずつ連投できる。
→選手の投げ過ぎ予防に繋がるか？
2. 何故、回数ではなく球数なのか？
試合の流れが変わってしまう、罰則はないものの
自チームの投手と相手チームの投手の球数を
1週間サイクルでチェックする必要がある。
3. 本当の選手ファーストの在り方をこれを機会に
大人が考える。何球投げさせることができるという
発想を捨て故障をさせない範囲を見出す努力をすること。
500球に満たなければ、200球でも300球でも
投げていいということではない。制限を加えることが障害
を引き起こすブレーキになる。

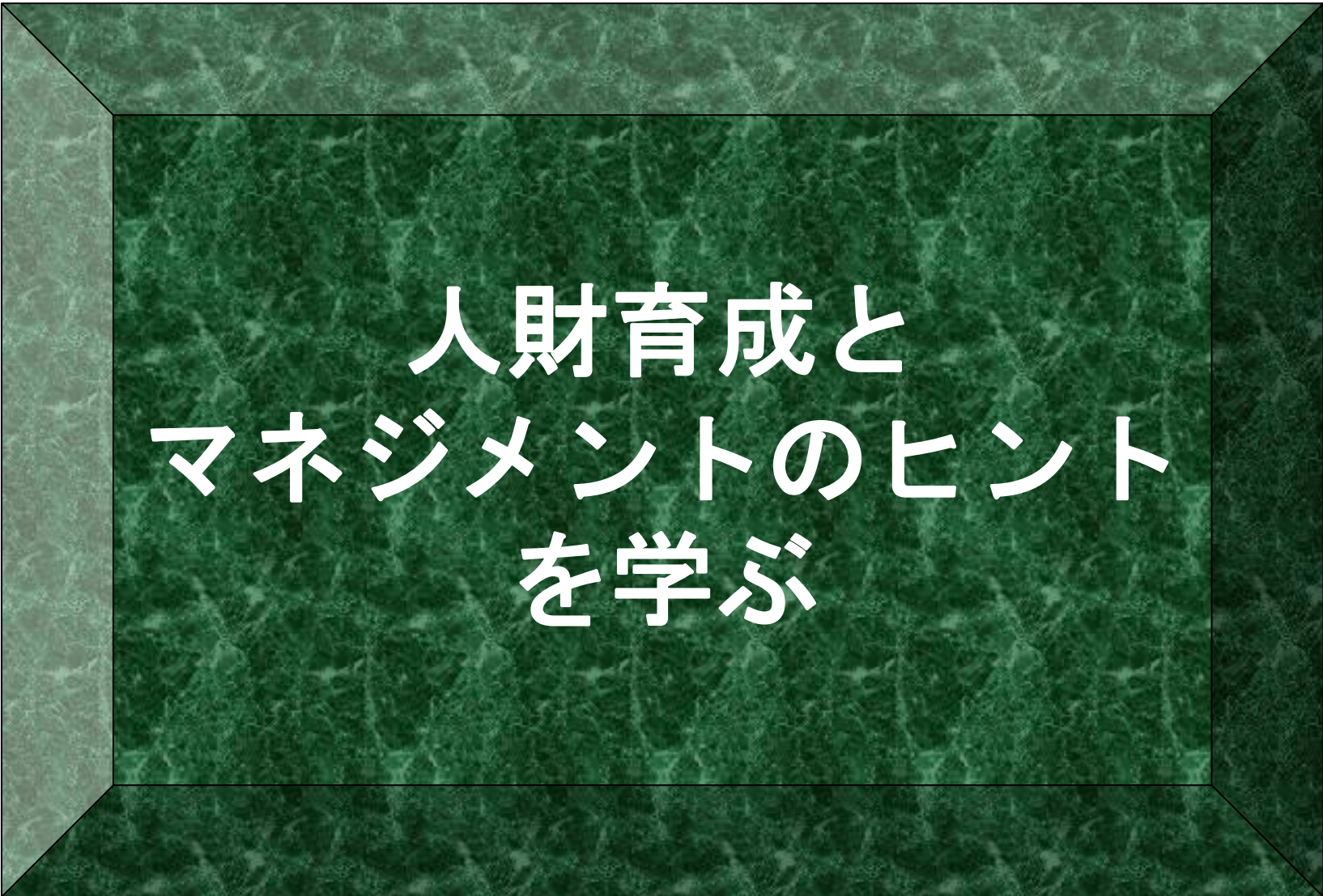
3. ケガ、故障の防止対策を考える

●球数制限をどう受け止めるか

4. 何球投げると肩を痛め、何球以内なら大丈夫という医科学的なエビデンスはない。但し、投げ過ぎることは肘や肩にダメージを与えることは明白。
 5. 全体の為に個人が犠牲になってはならないという世の中の大きな流れの中で、高校野球がパラダイムシフトに踏み出す1歩と捉える。
- ・新規則は、高校野球にもプロ野球同様、先発・中継ぎ・抑えという投手の分業化に繋がることは間違いない。
 - ・有望な選手が高校で選手生命を絶たれることなく、プロで長く活躍できるよう勝利至上主義から選手ファーストの指導、采配が求められる。

●今後の検討課題（私見）

- ・捕手のイニング制限、試合数制限




人財育成と
マネジメントのヒント
を学ぶ

ある少年野球の光景

コーチらしき人から小学生の選手へ

- ・「バカヤロー！なんでそんなゴロが捕れないんだっ！」
- ・「だから何度も言ってるだろ！腰をおとせっ！」
- ・「だれがそこまで腰を落とせと言った！へたくソ！」

- ・「ボールをよく見ろ！」
- ・「そんなボール振るんじゃない！」
- ・「もっと足を上げろ！」「バカ！足を上げ過ぎだ！」

- 
- ・果たしてこの子は野球が上手くなるだろうか？
 - ・野球を好きになるだろうか？

人財育成

コーチング

コーチングとは

(目的)

「自ら考え自ら行動でき、自らの能力を最大限発揮できる人財を育成すること」

(理念)

- ①人は皆、無限の能力と可能性を持っている。
- ②その人が必要とする答えは、全てその人の中にある。

(語源)

1500年代の欧州での交通手段であった「馬車(コーチ)」。
大切な人をその人がいるところから、その人が望むところまで 送り届ける
乗り物をコーチと呼んでいた。

コーチとは、相手自身が自ら考え、自分の中から答えを引き出す
手伝いをする事。

自分の意思で行動が変われるように気付かせること。

人財マネジメント

三原脩

元プロ野球監督

- ・巨人をクビになって西鉄の監督時代。豊田、中西、大下、稲尾がおり野武士軍団と呼ばれるつわものどもの集まり。この時の三原のやり方は「放任野球」。私生活への干渉なし。酒を飲んでこようが、女の所に行ってこようが、「かまわん、試合に勝て、プロとしての結果を出せ」としか言わなかった。結果、三連覇を達成。
- ・次に万年最下位の大洋の監督時代。「君たち一人一人の力は、巨人、阪神に遠く及ばないが1つにまとまれば強くなれる。そのためには日頃から節制しろ！、二日酔いで球場に来るやつは絶対使わん！」
「管理野球」の原型を作った。結果、前年最下位から日本一になった。
- ・名リーダー、名経営者は「今いる人財で最高の組織をつくり、結果を出せる人」
- ・マネジメントとは人を縛ることではなく、人を活かすことである。

人財育成のヒント

一流選手の親の共通点

…石川遼、杉山愛

- ・決して勝利だけを求めない親子関係
- ・応援、激励はするがプレーには口を出さない

一流選手の共通点

- ・やると決めたことを徹底できる、継続できる。（岩瀬仁紀）
- ・学ぶ力・向上心が秀でている。（大谷翔平：64マスのオープンソウインドウ）
- ・応援や期待を力に変えられる。重圧を集中力に変換できる。（立浪和義）
- ・基本中の基本を完璧にできる。（FC豊橋デュミラン：木村監督の言葉）

一流選手の要件

- ・主体的に物事を考えられる。行動の軸が自分にあるかが重要。判断、決断、行動を人に委ねるサイクルがある人は成長しない。

贈る言葉

グラウンドは道場なり。
練習は実戦の如く、実戦は練習の如し。

- ・常に実戦をイメージして練習する。本番は練習でやってきたことを発揮するだけ。

3つの声を大切にしろ

- ・野球には「予測」・「指示」・「励まし」の3つの声ที่สำคัญである。

本気で甲子園を狙う

- ・「本気でやれば、大抵のことはできる。
本気でやれば何でも面白い。
本気でやれば、誰かが助けてくれる。」

おまけの話

- ・立浪和義
- ・榎原寛己

男・立浪和義について



2019年 野球殿堂入り

平成最後の野球殿堂入り選手が15日、野球殿堂博物館から発表され、新たに3人が殿堂入りし、204名となった。

1. 競技者表彰

【プレーヤー表彰】立浪和義氏(49)

【エキスパート表彰】権藤博氏(80)

2. 特別表彰

元日本高等学校野球連盟会長：脇村春夫氏(87)

.....
プレーヤー表彰の対象者は引退後5年以上が経過した選手で、その後15年間に選考対象。

選出方法は、野球報道に関して15年以上の経験を持つ委員(約300人)が投票して、75%以上得票した人。

・立浪氏は中日一筋で活躍して2000本安打(通算2480安打)を達成し、通算487二塁打のNPB記録保持者。2015年の投票から候補入りし、5年目で選出された。

立浪和義氏の殿堂入りを祝う会 2019.12.5 ナゴヤキャッスル

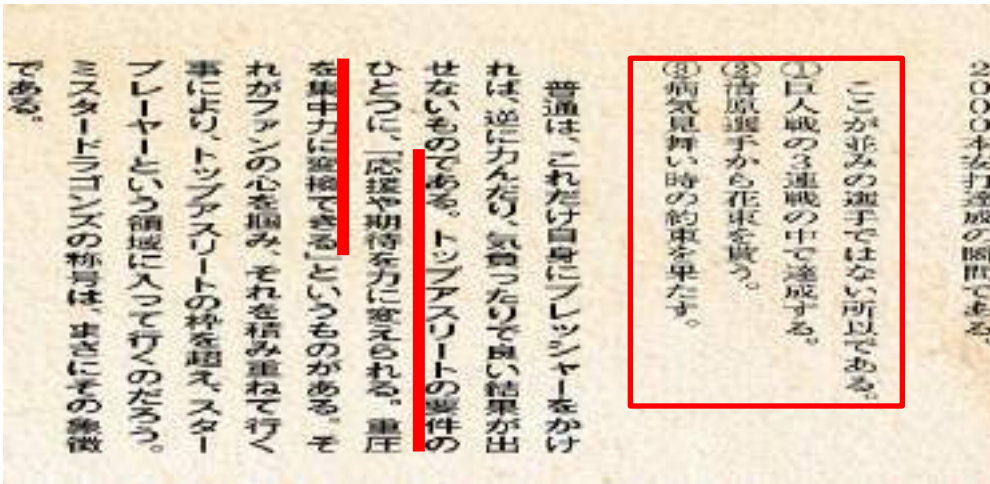


立浪和義氏の殿堂入りを祝う会 2019.12.5 ナゴヤキャッスル



ここだけの話

● 2000本安打達成秘話



● 目配り・気配り・思いやり

就職斡旋



家族とお祝い



最後に、ちょっと、いい話

● 槇原(元巨人投手・大府後輩)取材時の話



時間・場所の配慮

先輩への気遣い

高校野球の基礎知識 と

制度・ルールの変遷

～経緯があって今がある～

～目的・理由があって今がある～

高校野球の基礎知識

背番号の採用

①背番号が始めて採用されたのは、第8回大会(昭和6年)春の選抜大会。

ピッチャー:1番・キャッチャー:2番・ファースト:3番・セカンド:4番

サード:5番・ショート:6番・レフト:7番・センター:8番・ライト:9番

控え選手はポジション関係無く、番号を割り振る

②夏の甲子園で背番号を付け始めたのは、第34回大会(昭和27年)から。

③地区大会では翌年の昭和28年から。

甲子園のベンチ入り人数

年	登録人数
1915年(大正4年)夏～	制限なし
1928年(昭和3年)夏～	14名
1978年(昭和53年)夏～	15名
1994年(平成6年)春～	16名
2003年(平成15年)夏～	18名

金属バットの使用

1974年(昭和49年)

第56回大会から解禁

(金属バットを採用した理由)

- ①折れやすい木製バットを使用するよりも**耐久性**があること。
- ②バットに使用する**木材を保護**するためにも有効であること。
- ③当時は木製バットの原料となる木材の価格が高騰、木製バットの価格も併せて高騰したことから、**経済性**を考慮したこと。
木製バットは芯を外すと折れてしまうことが多々ありますが、折れたから新しいのを用意する、というのでは保護者の負担も厳しく、高校生の部活動として望ましくないという考え方もあった。
- ④木製に比べ「芯」が広いことから、**思い切ったスイングができる**ことや金属バットの特徴ともいえる「**反発力の高さ**」により**飛距離も出やすい**、というプラス面が大きい。

高校野球の規定で使用できるバットとして、木製バット、木片の接合バット、竹の接合バット、金属製バットの使用が認められています。

つまり、**金属バットでなければいけない、ということはない**のですが、実際には金属バットの使用がほとんどです。

金属バットの使用

金属バットがもたらしたもの

- ・ 金属バットが初めて導入された74年、**飛距離は格段に伸び、高校野球が変わった。**
- ・ 本塁打数が増加傾向にあった92年には、甲子園のラッキーゾーンが撤廃。



(レフト側)



(ライト側)

一時は本塁打数が激減したが、再び増加に転じた。
歴代のスラッガーたちは、環境の変化とともに、成長を続けた歴史がある。

金属バットの使用

金属バットがもたらしたもの

- ・折れることがなく、経済的負担が少ない金属バットはすぐに浸透する。
- ・P L 学園（大阪）桑田真澄、清原和博の「KKコンビ」が2年生で準優勝した84年夏は、計47本塁打、優勝した85年夏は計46本塁打が飛び出した。
- ・清原の甲子園通算13本塁打は、今も個人最多記録に残る。



ヘルメットの着用

1959年(昭和34年迄)

ヘルメットはあったが着用は自由



1960年(昭和35年)

打者用ヘルメットの着用が義務化



1965年(昭和40年)

走者に対してもヘルメットの着用が義務化



ヘルメットの着用

1972年(昭和47年)

耳付ヘルメット(片耳)の着用が義務化

耳あて付きヘルメットは田淵幸一(当時阪神タイガース)が1970年の広島カープ戦で外木場義郎の投球が側頭部への死球により耳から出血したことをきっかけに、1971年から着用の義務化。高校野球では1972年から義務化



1995年(平成7年)

両耳付の打者ヘルメットの着用が義務化

この耳あてはプロ野球においては左打者用では右耳に、右打者用には左耳についており耳の保護を行う。[スイッチヒッター](#)では両耳付きヘルメットを使う選手もいる。なお高校生以下は事故防止の為、両耳付きの使用を義務付けている場合がほとんどである。



ヘルメットの着用

2001年(平成13年)

打撃投手のヘルメット(ヘッドギア)の着用が義務化

2009年(平成21年)

ベースコーチにヘルメットの着用が義務化

2007年にマイナーリーグのベースコーチだったマイク・クールボーが試合中に打球を頭に受け死亡した事故が起きたことから、翌2008年からアメリカにおいてはメジャーリーグも含めてベースコーチにもヘルメット着用が義務付けられた。

日本ではアマチュア野球が2009年に、プロ野球では2010年からそれぞれヘルメット着用が義務化された。

2017年(平成29年)

女子マネージャー甲子園練習参加認可

- ・ 3月19日開幕の第89回選抜高校野球大会の甲子園練習から適用。
- ・ 女子の練習の参加は昨夏の大会まで禁止されており、日本高校野球連盟(日本高野連)が昨年11月、ヘルメット着用などの制限付きで認めてから初のケースとなった。



手袋の使用

1995年(平成7年)シーズンイン

負傷箇所防護目的の打者用手袋の許可

1997年(平成9年)シーズンイン

下記の場合について手袋の着用を許可

1. 投手の打撃時および走者となった時の投げ手
2. 捕手の守備時の受け手
3. 監督、コーチのシートノック時

※寒冷地において、特に気温の低いときは、主催者の判断で特例として打者の手袋着用を認めた。

1998年(平成10年)シーズンイン

実質、打者の手袋着用を許可

次の条件を付けて手袋の使用を認めた。

1. リストバンドを兼ねたようなものは禁止し、手首から先のものとする。
2. スプレイの使用は手袋の磨耗が激しく、打者が優位になることもあるので禁止する。
3. 経済性の点からパットを補強したような高価なものは使用しないよう指導する。



愛知の 選抜大会の記録

昨年
まで

愛知県勢選抜大会記録

愛知県勢全戦績

出場回数	試合数	勝	負	分	勝率	優勝	準優勝
121	284	171	110	3	.609	11	8

学校別出場回数

黄色は公立高校

校数	学校名	出場回数
1	中京大中京	30
2	東邦	30
3	享栄	11
4	愛知商	10
5	愛工大名電	9
6	旭丘 (愛知一中)	4
7	大府	4
8	愛知	4
9	二宮	3
10	岡崎工	2

校数	学校名	出場回数
11	時習館	2
12	成章	2
13	岡崎	2
14	豊川	1
15	豊田西	1
16	津島	1
17	愛知啓成	1
18	豊橋工	1
19	刈谷	1
20	愛産大三河	1
21	至学館	1

昨年
まで

愛知県勢選抜大会記録

学校別勝利数

黄色は公立高校

順位	学校名	出場回数	勝	負	分
1	東邦	30	56	25	1
2	中京大中京	30	55	26	0
3	愛工大名電	9	16	8	0
4	享栄	11	12	11	1
5	愛知商	10	10	9	1
6	旭丘	4	5	4	0
7	二宮	3	4	3	0
8	豊川	1	3	1	0
9	大府	4	2	4	0
10	岡崎工	2	2	2	0
11	豊田西	1	2	1	0

順位	学校名	出場回数	勝	負	分
12	時習館	2	1	2	0
12	津島	1	1	1	0
12	成章	2	1	2	0
12	愛知啓成	1	1	1	0
16	愛知	4	0	4	0
16	豊橋工	1	0	1	0
16	岡崎	2	0	2	0
16	刈谷	1	0	1	0
16	愛産大三河	1	0	1	0
16	至学館	1	0	1	0